

## 日本一辛い村プロジェクト

# 「デイスカバー農山漁村の宝」アワード選定

道の駅ひらた「日本一辛い村プロジェクト」が「デイスカバー農山漁村の宝」アワードにおいて、東北農政局が選ぶ東北独自の特徴ある優れた取り組み6選のうちの1団体に選出され、1月27日に開催された選定証授与式に出席しました。

本表彰は「強い農林水産業」と「美しく活力ある農山漁村」の実現を目的に、内閣官房及び農林水産省が主催する制度であり、農山漁村の地域資源を生かし、地域活性化や所得向上に取り組む優良な活動を選定し、全国へ発信するものです。今回、



選定証授与式に出席した高野駅長



選定証受賞の報告に訪れたハバネロ生産組合の皆さん

2011年の東日本大震災による風評被害を払拭しようとする村内で栽培されているハバネロを地域の特産として位置づけ、観光や地域振興につなげる村おこし活動が評価されました。また、ハバネロ生産組合の皆さんと高野哲也駅長(道の駅ひらた)が2月2日、役場を訪れ、澤村村長に選定証受賞の報告を行いました。

## 福島県指導農業士感謝状及び認定証贈呈

平成20年度から18年間、福島県指導農業士として青年農業者の育成、農業の振興と発展にご尽力いただいた大木信之さん(下蓬田)の退任にあたり福島県知事から感謝状が贈呈されました。

また、後任には、畜産農家の吉田和浩さん(上蓬田)が認定され、認定証が交付されました。今後、青年農業者の育成、農業経営及び集団活動に関する指導活動を行っていきます。



退任される大木信之さん(右)、後任の吉田和浩さん(左)

## 北屋敷地区換地・評価委員会委嘱状交付式

北屋敷地区換地・評価委員会委嘱状交付式が1月26日、役場で行われ、澤村村長から委嘱状が交付されました。

換地・評価委員は、県営土地改良事業である農地中間管理機構関連農地整備事業(北屋敷地区)を行うことで土地区画が変わることから、土地の評価や換地に関する意見を調整する地域の代表者で構成される委員会です。土地の集団化や従前の土地との照応を考慮しながら換地計画を策定し、公平に所有者等を決め直すことを目的に設置され、任期は処務規定第三条に規定する登記完了日までとなります。

委嘱状交付式後に第1回委員会が開催され、委員長に野崎健男さん(上蓬田)が選任されました。



委嘱状交付を受ける駒木根 茂さん

# 平田村地域公共交通活性化協議会 委嘱状交付式

平田村地域公共交通活性化協議会の委嘱状交付式が2月3日、役場で行われ、澤村村長から委嘱状が交付されました。

この協議会は、村の公共交通に関する基本計画の策定に向けた協議を行い、地域の特性に応じた最適な交通体系を検討するため設置されました。委員の任期は、令和10年1月31日までの2年間です。

委嘱状交付式後に第1回協議会が開催され、会長に三本松利政副村長、副会長に川崎洋輔日本大学工学部准教授が選任されました。

# 上下水道事業運営協議会委嘱状 交付式

平田村上下水道事業運営協議会の委嘱状交付式が2月16日、役場で行われ、澤村村長から委嘱状が交付されました。

この協議会は、水道事業(簡易水道事業)と下水道事業(農業集落排水事業)の健全運営と整備計画等を協議するため設置されました。委員の任期は、令和11年12月31日までの4年間です。

委嘱状交付後、委員の互選により会長に鈴木孝さん(東山)、副会長に生田目定之さん(乙空釜)が選任されました。



委嘱状交付を受ける鈴木 孝さん



委嘱状交付を受ける川崎洋輔さん

# 平田村産のそば粉のおいしさを体験



あぶくま高原平田村そば生産組合(組合長 横田一成さん)が生産したそば粉のおいしさを再発見する試みとして、そば打ち体験・試食会が2月21日、下蓬田集会所で行われました。

そば打ち体験では、あぶくま高原そば振興協議会会長の大千里義市・廣子ご夫妻を講師に迎え、参加した組合員の皆さんは、そば打ちの手順を教わりながら真剣に取り組んでいました。そば打ち体験後、講師が打った十割そばは、舌鼓を打っていました。

道の駅ひらたで提供されているそばは、そば生産組合が生産したそば粉を使って提供しております。是非、道の駅に足を運んでいただき、地元産のそばをご賞味ください。

